

ふれあい



医療センター内にコンビニがオープンしました。

目次

- ◆ 下肢静脈瘤レーザーで治療
- ◆ 研修医として…
- ◆ こちら、総合相談支援室 ～パート②～
- ◆ 市民公開講座「よくわかる！糖尿病教室」

～ ご自由にお持ちください ～

看護師募集中

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

浜松医療センター

検索



下肢静脈瘤レーザーで治療

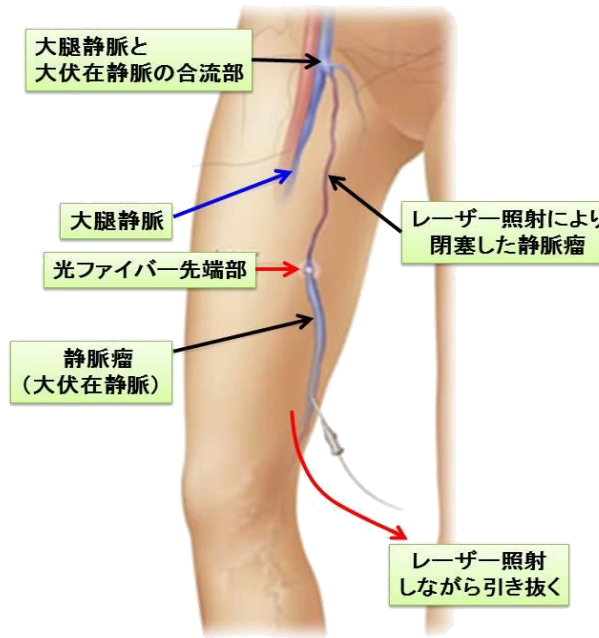
脚の静脈の逆流防止弁が壊れ、静脈がこぶのように膨らみ、皮膚の表面に突き出る「下肢静脈瘤」。程度の差はあれ、この疾患をもっている患者数は、国内で1千万人以上とされています。次第に脚のだるさやむくみ、こむら返りなどを自覚するようになり、重症化すると皮膚に湿疹や潰瘍を形成してきます。

従来の標準的な治療は、特殊な器具で悪化した静脈を引き抜く「ストリッピング手術」です。

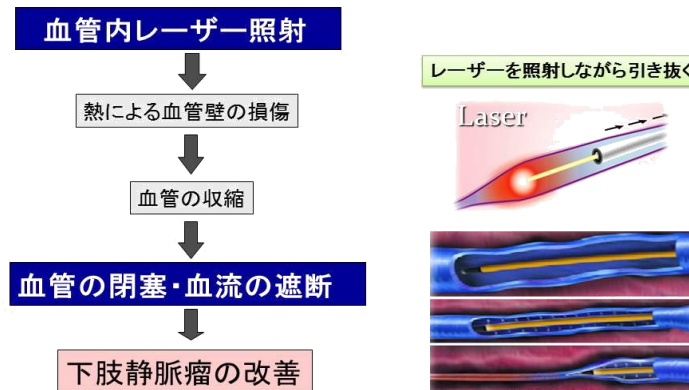
当院では、「**レーザー治療**」が平成24年1月から可能になります。従来のように皮膚に切開を加える必要がなく、静脈内に留置したカテーテルから光ファイバーを静脈内に入れ、先端から出るレーザーの熱で悪くなった静脈を閉塞させます。

身体に対する負担が少なく、入院日数も大幅に短縮されることが期待されます。平成23年からは、この治療法に医療保険が適用されていますので、静脈瘤でお悩みの方はお気軽に**心臓血管外科**の外来にてご相談ください。

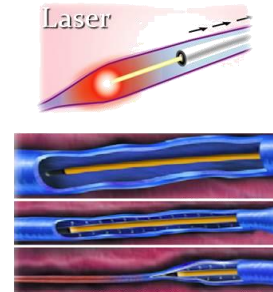
文責：循環器センター長 田中國義



血管内レーザー照射による血管閉塞のメカニズム



レーザーを照射しながら引き抜く



〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053 (453) 7111

FAX 053 (452) 9217

URL <http://www.hmedc.or.jp>

E-Mail kikaku@hmedc.or.jp

発行：浜松医療センター

研修医として・・・



研修医としての生活が始まってから、早いもので1年と8か月が経とうとしています。働き始めたころは、もちろん右も左もわからない状態で、学生だった立場から急に「先生」と呼ばれるようになり、毎日を乗り切ることではいっぱいでした。

しかし、他の先生方を始め、コメディカルの方々の多くの助けを借りながら研修していくうちに、不安なことまでいっぱいあるけれど、働くことの楽しさや、患者さんたちと一緒に病気と向き合って同じ時間を過ごすことの大切さを、毎日実感しています。

まだまだ頼りない私ですが、いつか「出会えてよかった」と思われるような、そんな医師になれるよう、日々努力していきたいと思います。



研修医 松永 英里香



こちら、総合相談支援室！！～パート②～

Q. 後期高齢者（75歳以上）です。医療費がどのくらいかかるか心配です。

A. 所得区分C-II及びC-Iに該当する方は、「**限度額適用・標準負担額限度認定証**」で医療費が軽減できる場合があります。

○75歳以上の自己負担限度額○

対象者	自己負担限度額(月額) ※①(1回目～3回目)		多数該当 ※①(4回目～)
	世帯単位(入院・外来)	個人単位(外来のみ)	
現役並み 所得者 (3割負担)	80,100円+ (※②医療費-267,000円)×1%	44,400円	44,400円
一般 (1割負担)	44,400円	12,000円	
所得区分 C-II	24,600円	8,000円	
所得区分 C-I	15,000円	8,000円	

※① 前1年間における高額療養費支給回数

※② 医療費合計金額が該当

(1)世帯全員が市民税非課税の方(所得区分C-II)

⇒入院24,600円(食事:1食160~210円)、外来8,000円

(2)世帯全員が市民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除(年金の所得は80万円として計算)を差し引いた時に0円になる人(所得区分C-I)

⇒入院15,000円(食事:1食100円)、外来8,000円

Q. 申請方法は？

A. 最寄りの役所の**後期高齢者医療窓口**に**保険証**と**認印**を持参して申請してください。代理人の方でも構いません。

即日発行、または郵送で認定証が送付されます。認定証を受け取ったら、**入院受付(①番の窓口)**に提示をお忘れなく。

第15回市民公開講座

「よくわかる！糖尿病教室」

<日時> 平成24年1月21日(土) 14時～16時30分

<会場> アクトシティ浜松コンgresセンター31会議室

<定員> 380人(直接会場にお越しください)

入場無料

<主催> 浜松医療センター

<共催> 浜松市

<後援> 浜松医師会、浜松市歯科医師会

浜松市薬剤師会

<内容> 今回の市民公開講座は「糖尿病」をテーマとしています。糖尿病の実態と治療の重要性を啓蒙し、予防方法や最新の治療法を含めて分かりやすく解説します。

<問い合わせ先> 企画広報係 TEL053-453-7111

どなたもお気軽にご参加ください。

